

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	Academic Writing II						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C204	担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
基本的な英文法を理解し、表現できるようになる。							
成績評価の方法							
パターン・ドリルの進捗達成度具合。 50セクション ✕ 2点 = 100点							
テキスト							
資料を配布する。							
その他							
講義内容							
配布資料を使って、生徒一人一人が課題を習得する。教師が採点し指導して次の課題へ進ませる。生徒の能力次第では、前学期のドリルを行うこともある。							
受講登録以前に準備すること							
前学期の瀬名波の授業を履修していることが望ましい							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	Academic Writing II	
授業の予習と復習に各2時間を要する。 パターン・プラクティス		
授業計画		
第1回	現在文1(1～8)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第2回	現在文1(1～8)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第3回	現在文1(1～8)＋確認テスト1	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第4回	現在文2(9～15)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第5回	現在文2(9～15)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第6回	現在文2(9～15)＋ 確認テスト	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第7回	現在文3(16～25)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第8回	現在文3(16～25)	
	担当教員	瀬名波 栄潤

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	Academic Writing II	
第9回	現在文3(16～25) + 確認テスト3	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第10回	過去の文1(26～38)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第11回	過去の文1(26～38)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第12回	過去の文(26～38) + 確認テスト4	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第13回	進行形と未来形(39～50)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第14回	進行形と未来形(39～50)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第15回	進行形と未来形(39～50) + 確認テスト5	
	担当教員	瀬名波 栄潤
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	実施しない
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内ドリル 50セクション ✕ 2点 = 100点

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	Academic Writing II	
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	Academic Reading II						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C204	担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
北海道の歴史や文化に関しての英文を読んで和訳することで、自らの力で知識と理解を広げ深められるようになる。							
成績評価の方法							
毎回の授業での翻訳作業(60%) 定期試験(40%)							
テキスト							
"Hokkaido Travel Guide" < https://www.visit-hokkaido.jp/lsc/upfile/pamphlet/0000/0013/13_201_file.pdf > "Hokkaido History & Culture" < https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/ud49g70000002apz-att/ud49g7000000s7ym.pdf >							
その他							
講義内容							
英語で作成されたブックレットを教科書に、まずは内容理解と和訳を行う。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	Academic Reading II
受講生に、翻訳を割り当てる。	
授業計画	
第1回	イントロ 教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.2-3)
第2回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.4-9)
第3回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.10-13)
第4回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.14-19)
第5回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.20-25)
第6回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.26-31)
第7回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.32-37)
第8回	教科書1: "Hokkaido Travel Guide" (pp.38-41)
第9回	レビュー: 教科書1 "Hokkaido Travel Guide"
第10回	教科書2: "Hokkaido History & Culture" (pp.1-3)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	Academic Reading II	
第11回	教科書2: "Hokkaido History & Culture" (pp.4-6)	
第12回	教科書2: "Hokkaido History & Culture" (pp.7-9)	
第13回	教科書2: "Hokkaido History & Culture" (pp.10-12)	
第14回	教科書2: "Hokkaido History & Culture" (pp.13-15)	
第15回	レビュー:教科書2"Hokkaido History & Culture" 学期のまとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	40	教科書からの一部翻訳(8文 ✕ 5点=40点)
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	授業での翻訳作業と翻訳発表(12コマ(14回授業のうち12回のベスト成績が評価対象) ✕ 5点=60点) 5点:卓越、4点:秀逸、3点:良、2点:可、1点:未完
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	対人コミュニケーションⅡ						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C102	担当教員	黄 美花		
到達目標							
・抽象的または文化的話題についての自分の考えが表現できる。また、他人の見方に対してコメントができる。 ・物語、記事等をまとめ、自分の意見を示すことができる。また、細部に関する質問に答えることができる。 ・目標達成のための協同作業を繰り返し行うことができる。							
成績評価の方法							
授業への参加度30%(2点×15回)、授業内の課題40%(作成20%+発表20%)、宿題30%(3点×10回)により総合的に評価する。							
テキスト							
・指定テキストは特になし。 ・必要に応じて、その都度ハンドアウトを配布する。							
その他							
・アクティビティに積極的に参加すること。 ・学習した日本語はできるだけ使うように心がけること。							
講義内容							
・授業の主な言語活動は、「話すこと(やりとり)」(B1～B2レベル)である。 ・「好きなマンガのストーリーを話す」、「便利な商品を売り込む」等のアクティビティを主に行い、情報交換・質疑応答につなげる。							
受講登録以前に準備すること							
特になし。							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	対人コミュニケーションⅡ
・ペアワーク、グループワークの形式で、様々なやりとりを行う。 ・ルーブリック表を用い、評価及びフィードバックを行う。 ・学期はじめに設定した各テーマに沿って、各自で週4時間程度の予・復習が必要となる。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション、レベルテスト (*レベルテストを行うので、必ず参加すること)
第2回	課題(1)-1
第3回	課題(1)-2
第4回	課題(2)-1
第5回	課題(2)-2
第6回	課題(3)-1
第7回	課題(3)-2
第8回	課題(4)-1
第9回	課題(4)-2
第10回	課題(5)-1

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	対人コミュニケーションⅡ	
第11回	課題(5)－2	
第12回	課題(6)－1	
第13回	課題(6)－2	
第14回	全体発表会、課題の振り返り	
第15回	課題最終版提出、フィードバック	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	70	参加度30%(2点×15回)、授業内の課題40%(作成20%＋発表20%)
その他	30	宿題30%(3点×10回)

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	対人コミュニケーション I						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C203	担当教員	黄 美花		
到達目標							
・話題を決め、インタビューをすることもインタビューを受けることもできる。 ・身近で個人的関心のある事柄、又は日常生活に関連する話題について個人の意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ・目標達成のための協同作業ができる。							
成績評価の方法							
授業への参加度30%(2点×15回)、授業内の課題40%(作成20%+発表20%)、宿題30%(3点×10回)により総合的に評価する。							
テキスト							
・指定テキストは特になし。 ・必要に応じて、その都度ハンドアウトを配布する。							
その他							
・アクティビティに積極的に参加すること。 ・学習した日本語はできるだけ使うように心がけること。							
講義内容							
・授業の主な言語活動は、「話すこと(やりとり)」(B1レベル)である。 ・「インタビューをする・インタビューを受ける」「食レポ」等のアクティビティを主に行う。							
受講登録以前に準備すること							
特になし。							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	対人コミュニケーション I
・ペアワーク、グループワークの形式で、様々なやりとりを行う。 ・ルーブリック表を用い、評価及びフィードバックを行う。 ・学期はじめに設定した各テーマに沿って、各自で週4時間程度の予・復習が必要となる。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション、レベルテスト (*レベルテストを行うので、必ず参加すること)
第2回	課題(1)-1
第3回	課題(1)-2
第4回	課題(2)-1
第5回	課題(2)-2
第6回	課題(3)-1
第7回	課題(3)-2
第8回	課題(4)-1
第9回	課題(4)-2
第10回	課題(5)-1

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	対人コミュニケーション I	
第11回	課題(5)ー2	
第12回	課題(6)ー1	
第13回	課題(6)ー2	
第14回	全体発表会、課題の振り返り	
第15回	課題最終版提出、フィードバック	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	70	授業への参加度30%(2点×15回)、授業内の課題40%(作成20%＋発表20%)
その他	30	宿題30%(3点×10回)

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	プレゼンテーション・スキルⅡ						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C203	担当教員	星野 芳輝		
到達目標							
「話せる」を目標に、日本語の仕組みの学習と共に、日常おける会話の練習を行う。							
成績評価の方法							
積極的参加 3%×15回(45%) 発表 15%×3(45%) レポート試験 10%							
テキスト							
特になし。適宜指示。							
その他							
講義内容は変更になる可能性があります。							
講義内容							
コミュニケーションにおける「会話」を中心に学習を行う。読むこと、話すことを中心に、コミュニケーションの基礎を学ぶ。							
受講登録以前に準備すること							
予習と復習(週4時間程度)							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	プレゼンテーション・スキルⅡ
読む、話すを中心に、実地的な練習と共に、基礎的な日本におけるコミュニケーションの知識について学ぶ。	
授業計画	
第1回	ガイダンスと講義計画
第2回	朗読
第3回	朗読
第4回	朗読
第5回	朗読
第6回	朗読発表
第7回	会話
第8回	会話
第9回	会話
第10回	プレゼンをする

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	プレゼンテーション・スキルⅡ	
第11回	プレゼンをする	
第12回	プレゼンをする	
第13回	プレゼンをする	
第14回	プレゼンをする	
第15回	まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	45	積極的参加 3%×15回(45%)
その他	55	レポート試験 10% 発表 15%×3(45%)

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	プレゼンテーション・スキル I						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室		担当教員	田 桃雨		
到達目標							
簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望を語ることが出来る。 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことが出来る。 関心のある身近な話題について、ほどほどの流ちょうさで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。							
成績評価の方法							
授業への参加度30%(2点×15回)、課題(宿題含む)30%(5点×6回)、発表40%(10点×4回)により総合的に評価する。							
テキスト							
指定テキストは特になし。 必要に応じて、その都度、プリントを配布する。							
その他							
受講者レベルにより、講義内容は変更になる可能性がある。							
講義内容							
発表でよく使う表現、発声練習、基礎知識を学ぶ。 実践練習を行う。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	プレゼンテーション・スキル I
「読む」+「話す」活動を繰り返し行う。その都度、評価及びフィードバックを行う。 予習、復習の実施。(週4時間程度)	
授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	話題提示①(語彙・表現)
第3回	発表準備
第4回	発表練習、フィードバック
第5回	話題提示②(語彙・表現)
第6回	発表準備
第7回	発表練習、フィードバック
第8回	話題③(語彙・表現)
第9回	発表準備
第10回	発表練習、フィードバック

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	プレゼンテーション・スキル I	
第11回	話題④(語彙・表現)	
第12回	発表準備	
第13回	発表練習、フィードバック	
第14回	全体発表会①	
第15回	全体発表会② フィードバック	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	授業への参加度30%(2点×15回)、課題(宿題含む)30%(5点×6回)
その他	40	発表(10点×4回)

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	言葉と表現Ⅱ						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C204	担当教員	星野 芳輝		
到達目標							
上級レベルへの到達を目指す中級日本語話者に向けた日本語文法の習得。 エッセイやレポートで情報を伝え、自らの意見を述べるができる。							
成績評価の方法							
講義への積極的参加 45% (3%×15回) 講義内課題 30% (2%×15回) 期末レポート 25%							
テキスト							
なし							
その他							
講義内容は変更になる可能性がある。							
講義内容							
初歩的な日本語文法の学習と復習を行いながら、中級から上級程度の日本語スキルを学ぶ。 作文などを行い、実践的な日本語能力を養う。							
受講登録以前に準備すること							
なし							
取得可能な資格							
なし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	言葉と表現Ⅱ
プリント使用し、講義を行う。 指示された課題を行い、適宜講師が解説を行う。 配布された資料をもとに授業内容をよく復習する。また、予習として自学自習を徹底する。(全4時間程度)	
授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	文法の基礎
第3回	文法の基礎
第4回	会話文と書き言葉
第5回	名詞
第6回	形容詞
第7回	動詞
第8回	自動詞・他動詞
第9回	副詞
第10回	接続詞

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	言葉と表現Ⅱ	
第11回	敬語	
第12回	ことわざ・比喩表現・慣用句	
第13回	エッセイ・レポートの書き方	
第14回	エッセイ・レポートの書き方	
第15回	まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	25	期末レポート 25%
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	75	講義への積極的参加 45% (3%×15回) 講義内課題 30% (2%×15回)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	言葉と表現 I						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C103	担当教員	田 桃雨		
到達目標							
一連の短い別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。 自分が関心を持つ身近な話題について、複雑でないが、詳しく記述することができる。 単純につながぎ合わせたテキストで感情や反応を記述し、経験したことを書くことができる。							
成績評価の方法							
授業への参加度30%(2点×15回)、課題30%(10点×3回)、期末課題40%(20点×2回)により総合的に評価する。							
テキスト							
指定テキストは特になし。 必要に応じて、プリントを配布する。							
その他							
授業計画は学生の理解・習得の程度などにより変更することがある。							
講義内容							
授業の主な言語活動は書くこと(B1レベル)である。文章表現と口頭表現の学習。書く練習も行う。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	言葉と表現 I
常用表現の説明後、指定の話題について、書く練習を行う。完成した文章の口頭発表の練習も行う。 評価及びフィードバックを行う。 各話題につき、週4時間ほどの予・復習が必要となる。	
授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	文章表現の基礎知識①
第3回	文章表現の基礎②
第4回	文章表現の基礎③
第5回	話題①(説明)
第6回	話題①(文章作成)
第7回	話題①(口頭発表、フィードバック)
第8回	話題②(説明)
第9回	話題②(文章作成)
第10回	話題②(口頭発表、フィードバック)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	言葉と表現 I	
第11回	話題③(説明)	
第12回	話題③(文章作成)	
第13回	話題③(口頭発表、フィードバック)	
第14回	話題④(期末)(文章作成、フィードバック)	
第15回	話題⑤(期末)(文章作成、フィードバック) 総まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	授業への参加度30%(2点×15回)、課題30%(10点×3回)
その他	40	期末課題40%(20点×2回)

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)						
科目名	言葉と理解Ⅱ						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2026	教室	C204	担当教員	黄 美花		
到達目標							
・起こったこと、希望等が表現されている内容を理解することができる。 ・読み物の内容を理解し、その内容を自分の言葉で説明することができる。 ・耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。							
成績評価の方法							
授業への参加度30%(2点×15回)、課題(宿題含む)30%(5点×6回)、聴解20%(5点×4回)、ミニ発表20%(5点×4回)により総合的に評価する。							
テキスト							
・指定テキストは特になし。 ・必要に応じて、その都度ハンドアウトを配布する。							
その他							
・アクティビティに積極的に参加すること。 ・学習した日本語はできるだけ使うように心がけること。							
講義内容							
・授業の主な言語活動は、「理解すること(聞くこと+読むこと)」(B1～B2レベル)である。読む活動に加えて、読んだ内容を説明する練習も行う。 ・N2の聴解練習を行う。							
受講登録以前に準備すること							
特になし。							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)
科目名	言葉と理解Ⅱ
・「読む＋話す」、「聞く＋話す」活動を繰り返し行う。 ・ルーブリック表を用い、評価及びフィードバックを行う。 ・学期はじめに設定した各テーマに沿って、各自で週4時間程度の予・復習が必要となる。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション、レベルテスト (＊初回レベルテストを行うので、必ず参加すること)
第2回	読み物①(語彙・表現)
第3回	読み物①(理解・説明)
第4回	読み物②(語彙・表現)
第5回	読み物②(理解・説明)
第6回	聴解練習(復習)①、解答と解説
第7回	聴解練習(復習)②、解答と解説
第8回	読み物③(語彙・表現)
第9回	読み物③(理解・説明)
第10回	読み物④(語彙・表現)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	共通科目 国際コミュニケーション(基礎)	
科目名	言葉と理解Ⅱ	
第11回	読み物④(理解・説明)	
第12回	聴解練習(復習)③、解答と解説	
第13回	聴解練習(復習)④、解答と解説	
第14回	全体発表会①、課題の振り返り	
第15回	全体発表会②、フィードバック	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	授業への参加度30%(2点×15回)、課題(宿題含む)30%(5点×6回)
その他	40	聴解20%(5点×4回)、ミニ発表20%(5点×4回)

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		一般教育科目 人間					
科目名		倫理学					
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	前田 潤		
到達目標							
1. 学生が生きる上で倫理学の必要性を説明できる。 2. 身の回りの生活や社会生活で出くわす困難を倫理学の立場から課題化することができる。 3. 倫理的課題を自分自身だけでなく、回りの人々と一緒に考えることができる。							
成績評価の方法							
毎回小レポートを課し、それによって成績評価する。 15回を10点満点で採点し、合計点÷1.5で100%成績を出す。 60点以上が合格。							
テキスト							
特に定めず必要に応じて資料を配布する。							
その他							
特になし							
講義内容							
・倫理学とはどのような学問かを理解するために、日常の生活を見つめることから始めていく。 ・倫理とはより良く生きる方法を指すが、良い悪いの判断はどのように行うのか？個人、家族、社会、時代という観点から考えていく。 そして絶対善や絶対悪はあるのか考察する。 ・生活の中から倫理的に課題となりそうな事柄を取り上げ、課題化し、その解決のために取り組んでもらう。 ・職業、生命、研究、個人情報保護に関わる倫理的課題をテーマに学生とともに問題の本質を見出し、解決の糸口を探る。 ・倫理的態度について取り上げ、倫理的態度の育て方について学生とともに考えを深めていく。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	一般教育科目 人間
科目名	倫理学
・授業は、対話形式を重視し、学生諸君の積極的な発言や能動的参加が欠かせません。 1.最初に挨拶 2.それぞれの近況報告や本日の講義に対する興味関心を確認 3.発言しやすい雰囲気づくり 4.講義内容に関わる課題の提示 5.グループワーク	
授業計画	
第1回	倫理学とは何か？
第2回	アリストテレスから学ぶ生きる目的
第3回	アリストテレスから学ぶ徳の所在
第4回	アリストテレスから学ぶ善と悪
第5回	家族と社会、時代で変遷する善と悪
第6回	カントに学ぶ倫理
第7回	定言命法と仮言命法
第8回	カントに学ぶ生き方
第9回	倫理的葛藤を見出す
第10回	倫理的葛藤の解決を探る

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	一般教育科目 人間	
科目名	倫理学	
第11回	職業倫理	
第12回	生命倫理	
第13回	研究倫理	
第14回	個人情報保護と社会問題	
第15回	倫理的態度を養う	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	毎回の章レポートの提出で成績を出す。 15回×10点÷1.5で計算する。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	一般教育科目 情報						
科目名	情報セキュリティ						
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	LL	担当教員	上原 貴史		
到達目標							
[1] セキュリティリスクの存在を認識し、情報セキュリティ 対策の重要性が説明できる [2] 情報セキュリティ関連技術の基本を実践できる [3] 高いセキュリティ意識を持ったユーザとして社会人として実践できる							
成績評価の方法							
●到達目標[1][2]は、主に定期試験で評価する 到達目標[3]は、主に提出課題で評価する ●欠席5回以上 → 受験無資格(単位不認定) 授業への積極的な参加 30点(30%) 授業中に課す課題 20点(20%) 定期試験 50点(50%)							
テキスト							
情報処理推進機構『情報セキュリティ読本七訂版』 実教出版、2025年9月20日 購入先 https://www.ipa.go.jp/publish/dokuhon-v7.html ◎教科書(660円)は必ず入手すること							
その他							
講義内容							
現在では、情報システムやインターネットは、産業・経済活動や行政活動、そして日々の暮らしを支える重要な社会基盤(インフラ)である。しかし、その基盤を脅かす脅威(悪人)が存在する。マルウェア(＝不正プログラム、コンピュータウイルス等)や不正アクセス、詐欺、情報流出等によって大きな被害が出ている。 情報セキュリティとは、情報の機密性・完全性・可用性を維持することと定義されているが、要は、脅威(悪人)から情報や情報システムを守ることである。情報セキュリティは、技術的な対策や国や組織等による対策だけでは実現できない。ユーザー一人一人が「知識と意識」を持って取り組むことが不可欠である。							
受講登録以前に準備すること							
情報処理推進機構『情報セキュリティ読本七訂版』の薄読							
取得可能な資格							
特に無し							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	一般教育科目 情報
科目名	情報セキュリティ
講義形式 【予習内容】 授業計画にある言葉を各自調べてから授業に参加すること 【復習内容】 授業で出した課題について、わからない言葉を調べること 予習、復習あわせて週4時間程度学習すること	
授業計画	
第1回	1. 科目ガイダンス
第2回	2. 危険の認識、情報セキュリティとは？
第3回	3. 外部のリスク要因
第4回	4. 内部のリスク要因
第5回	5. 情報リテラシーと情報倫理
第6回	6. マルウェアとは？
第7回	7. マルウェアへの共通の対策
第8回	8. 標的型攻撃・詐欺・不正請求への対策
第9回	9. 前半課題補講(模擬試験)
第10回	10. スマートフォンの対策、無線LANの対策

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	一般教育科目 情報	
科目名	情報セキュリティ	
第11回	11. 組織のセキュリティ対策(ISMS)	
第12回	12. 従業員としての心得、情報漏えいの防止	
第13回	13. アカウント・ID・パスワード	
第14回	14. ファイアウォール	
第15回	15. 暗号とデジタル署名 情報セキュリティ関連の法規、まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	50	選択式の問題60問、講義の自己評価感想1問
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	50	授業内での参加度・提出物 30% 授業内の課題(1講義あたり5～10問程度) 20%
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 キャリア・情報					
科目名		職業能力とキャリア					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	西川 祥一		
到達目標							
就職活動に不安が生じないようにする「就職実践講座」です。 ・自分の得意、不得意がきちんと把握でき、自分の希望するキャリアを設定できる。 ・就職を希望する学生が、業界研究を通じて希望する業界、業種を決め、説明できる。 ・社会や企業が求める行動力や協調性について理解し、具体的な行動として実践できる							
成績評価の方法							
ワークを行い、その提出物を評価(50%)、授業への積極的参加、授業態度(50%)							
テキスト							
独自の資料を用意します。							
その他							
実務家教員による科目 1982～2022年 朝日新聞社勤務。東京・大阪で社会部員、東京本社校閲センター長、北海道報道センター長を務める。							
講義内容							
就職活動の正念場を迎える3年生を想定し、この講座を受講することで、社会人としての心構え、就職活動の準備を身につけていきます。エントリーシートの作成、添削、面接試験対策など実践的なノウハウを身につけ、社会で活躍できる人材になるためのスキルを磨きます。授業の一貫として合同企業説明会にも参加し、企業研究を行います。本学卒業生が話す就活経験や企業の人事担当者が「求める人材」を話す講義なども織り交ぜて、就職活動を支援します。							
受講登録以前に準備すること							
なし							
取得可能な資格							
なし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	職業能力とキャリア
授業に出て、集中して学び、知識を習得する。課題は多少あります。座学形式よりは、ワークシートへの記入、模擬面接への参加、卒業生などの体験談を聞く学習など、密度の濃い内容です。就職情報会社の講師による「対策講座」も盛り込み、より実践的な内容にしています。予習より復習が大切な科目です。 1回の授業ごとに、予習(1時間)次回の授業で取り上げる内容についておおまかな流れをつかんでおく。復習(3時間)授業で取り上げたワーク、課題を作成する。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	留学生と就職①
第3回	留学生と就職②
第4回	企業研究の方法
第5回	就活スタートアップ
第6回	SPIを受験してみよう
第7回	企業説明会
第8回	企業説明会②
第9回	企業説明会③
第10回	エントリーシートの書き方 自己PR

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	職業能力とキャリア	
第11回	エントリーシートの書き方 ガクチカ	
第12回	エントリーシートの書き方 志望動機	
第13回	Aiを使ったエントリーシート	
第14回	ビジネスマナー	
第15回	3月の合説に行こう	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	課題などの提出物(50%)、授業への積極的参加・授業態度(50%)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 キャリア・情報					
科目名		協働と対人関係					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C204	担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
サステナビリティ(持続可能な開発)に関する視点と問題解決能力を育成する。 映画を観て課題を発見し、それを地元で解決するグローバルな術をグループによる協働で開拓し対人関係を醸成する。							
成績評価の方法							
4回のグループ発表と加筆修正版スライドの提出。							
テキスト							
映画『フォレスト・ガンプ』							
その他							
必要に応じて資料を配布する							
講義内容							
グループによる協働作業と発表 授業の予習と復習に最低でも各2時間を要する。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	協働と対人関係
基本的知識の注入 グループ作業(教室の内外) 発表・質疑	
授業計画	
第1回	イントロ 講義:「持続可能な開発目標(SDGs)」の歴史と内容
第2回	映画『フォレスト・ガンプ』検証(1)
第3回	映画『フォレスト・ガンプ』検証(2)
第4回	映画『フォレスト・ガンプ』検証(3) 討論:『フォレスト・ガンプ』とサステナビリティ(1)
第5回	討論:『フォレスト・ガンプ』とサステナビリティ(2) グループ作り
第6回	発表1:プロジェクト申請(チーム名、メンバー・リスト(名前と学籍番号)、サステナビリティ・トピック、課題解決方法、目標、成果物など)
第7回	グループ研究:「発表2:映画分析」対策(面談可@研究室) *「発表1」のPPT提出(締切:正午)
第8回	発表2:映画分析 *サステナビリティの観点から分析し、どのように表象・解決されているか具体的に発表すること。
第9回	グループ研究:「発表3:現実分析」対策(面談可@研究室) *「発表2」のPPT提出(締切:正午) *文献調査、ネット検索、インタビュー、アンケート等、原則自由。ただし、インタビューを行う場合は、丁寧に計画し相手の迷惑にならないよう一回で済むように実施すること。
第10回	グループ研究:「発表3:現実分析」対策(面談可@研究室)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	協働と対人関係	
第11回	発表3:現実分析	
第12回	グループ研究:「最終発表」対策(面談可@研究室) *「発表3」のPPT提出(締切:正午)	
第13回	グループ研究:「最終発表」対策(面談可@研究室)	
第14回	最終発表: *これまでの発表を簡潔に紹介し、課題解決方法をメインにPPTで提示する。そのための成果物があれば完成品を提出する。	
第15回	学期のまとめ *「最終発表」のPPT提出(締切:正午)	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	発表 & PPTs 1-3: 30 % (10%x3) 最終発表: 30 % 最終発表 PPT & 成果物: 20 % Class Performance: 10 %
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	専門科目 キャリア・情報						
科目名	マネジメント論						
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C103	担当教員	中田 和則		
到達目標							
経営学の基礎を学習する。企業の経営戦略・組織・マーケティングについて、自分の頭で考え判断できるようになることを到達目標とする。企業や組織の現状分析、経営改善や地域社会の発展に貢献していくための社会人としての基礎力を身に着ける。							
成績評価の方法							
・個人の事例発表プレゼンテーションの成績50%、参画率50%（50点×参画率）合計100点で評価。 ・理由のある欠席は4回まで5回以上の欠席は単位を認めない。							
テキスト							
特に指定しない。適時、講義内で指示する。							
その他							
講義内容							
経営学の基礎として、経営戦略・組織・マーケティングの各項目を採り上げ講義し学習する。最終的に、具体的な事例に当てはめ理解してもらうため、個別事例として個人で事例発表してもらう。							
受講登録以前に準備すること							
自分が就職したい企業または関心のある企業について新聞やネットで調べておくこと。							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	マネジメント論	
講義形式で進めるが、最後は個人で事例発表を行う。講義中に、随時、出席者の発言や意見を求める。毎回4時間程度の予復習が必要。		
授業計画		
第1回	オリエンテーション	
	担当教員	中田 和則
第2回	企業活動と経営戦略の全体概要	
	担当教員	中田 和則
第3回	事業戦略(競争戦略)	
	担当教員	中田 和則
第4回	企業戦略(成長戦略)	
	担当教員	中田 和則
第5回	技術経営(イノベーション)	
	担当教員	中田 和則
第6回	企業の社会的責任(CSR)とコーポレートガバナンス	
	担当教員	中田 和則
第7回	組織構造論	
	担当教員	中田 和則
第8回	組織行動論	
	担当教員	中田 和則

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	マネジメント論	
第9回	人的資源管理	
	担当教員	中田 和則
第10回	マーケティングマネジメント	
	担当教員	中田 和則
第11回	製品戦略(ブランド戦略)	
	担当教員	中田 和則
第12回	価格戦略・プロモーション戦略	
	担当教員	中田 和則
第13回	事例発表(個人発表)	
	担当教員	中田 和則
第14回	事例発表(個人発表)	
	担当教員	中田 和則
第15回	全体のまとめ	
	担当教員	中田 和則
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	個人事例発表の成績50%、参画率50%(50点×参画率)合計100点で成績評価。理由のある欠席は4回まで5回以上の欠席は単位を認めない。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	マネジメント論	
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	専門科目 キャリア・情報						
科目名	地域産業論						
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	末富 弘		
到達目標							
・北海道地域の産業の現状を知り、説明できる。 ・SWOT分析により今後の産業展開をかんがえ、説明できる。 ・新たな基幹産業の創出を提言する。							
成績評価の方法							
期末レポート55点、毎回の受講評価45点(1～3点×15回) で評価する。合計100点。60点以上が合格である・5回以上の欠席は単位を認定しない。							
テキスト							
都度、必要な資料を配布する。							
その他							
実務家教員による科目 1977～1998 北海道拓殖銀行 (1986～1988 北海道出向) 1998～2011 北洋銀行 (2000～2007 北海道TLO出向) 2020～ 苫小牧信用金庫非常勤アドバイザー							
講義内容							
北海道の現状を理解したうえで、経営学的な手法で新たな産業について考える。 教員による講義以外にも、外部専門家による専門的な講義を行う場合がある。							
受講登録以前に準備すること							
以下のHPを確認し、北海道の現状について理解しておく。 (国土交通省) https://www.mlit.go.jp/common/001402771.pdf (北海道) https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/8/8/8/2/9/8/_/14_%E3%80%90%E8%B3%87%E6%96%993-2%E3%80%912%E7%AB%A0(P4~8)%E4%BF%AE%E6%AD%A3.pdf							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	地域産業論
毎回、資料を配布し、内容について学修する。 教員以外にも、外部専門家による専門的な講義を行う場合がある。 当日の講義の前には、2時間の予習で事前に配布する資料の記載事項を理解し、講義終了後には2時間の復習で当日の講義について確認し習得する。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	北海道経済の現状について学修する。
第3回	北海道経済の現状について学修し、説明できるようにする。(1)
第4回	北海道経済の現状について学修し、説明できるようにする。(2)
第5回	北海道の地域ごとの特性(地理・歴史・産業等)について学修し、説明できるようにする。(1)
第6回	北海道の地域ごとの特性(地理・歴史・産業等)について学修し、説明できるようにする。(2)
第7回	北海道の地域ごとの特性(地理・歴史・産業等)について学修し、説明できるようにする。(3)
第8回	北海道の特定の地域についてSWOT分析を行う。(1) SWOT分析:SWOT分析とは、自社(地域)の内部環境と外部環境を「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つの要素で分析し、企業(地域)の現状を把握し効果的な戦略を策定するためのフレームワークです。
第9回	北海道の特定の地域についてSWOT分析を行う。(2)
第10回	北海道の特定の地域についてSWOT分析を行う。(3)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	地域産業論	
第11回	観光業について学修し、説明できるようにする。	
第12回	食関連産業について学修し、説明できる。	
第13回	半導体産業について学修し、説明できる。	
第14回	各地域の新産業、新規事業について説明できる。(1)	
第15回	各地域の新産業、新規事業について説明できる。(2)	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	期末レポート55点、毎回の受講評価45点(1～3点×15回)で評価する。合計100点。60点以上が合格である・5回以上の欠席は単位を認定しない。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 キャリア・情報					
科目名		地方自治論					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	杉山 維彦		
到達目標							
・地方自治の意義、制度の沿革等について理解する。 ・地方公共団体の事務、議会、執行機関等について理解する。							
成績評価の方法							
①授業の参加度(70%) ・講師毎に課される小テスト、レポートの点数や内容を評価する。 ・授業への参加度や出席態度(遅刻や早期退席をはじめ、授業に無関係なPCやスマートフォンの使用、イヤホンの装着などは減点対象とする)等で評価する。 ②定期試験課題レポート(30%) ・学期末の定期試験の時期に実施する(時期や課題、文字数等の条件については授業中口頭及びTeamsなどで通知する)。							
テキスト							
特になし							
その他							
毎回市役所職員が講師として抗議します。 よって、予告なく変更する場合がある。							
講義内容							
本講義では、様々な分野によって構成されている地方行政・地方自治の現状を、市職員を講師に、実務者の観点から概説し、より身近にある自治について触れていきます。 また、地方行政で行われている業務や、地方自治体が抱えている諸問題など、実務者の経験に基づき考えていきます。毎週4時間程度の予習・復習によって理解と定着が進む。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	地方自治論
毎回市役所職員により講義形式にて行う	
授業計画	
第1回	オリエンテーション(地方自治とは)
第2回	多様性・LGBTQ等について
第3回	特別地方公共団体・地方公共団体の組合等について
第4回	住民・税について
第5回	選挙について
第6回	選挙・直接請求について
第7回	議会について
第8回	福祉について
第9回	地方自治法の沿革について
第10回	財務について

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	地方自治論	
第11回	市議会開催期間中のため未定	
第12回	市議会開催期間中のため未定	
第13回	条例及び規則について	
第14回	執行機関について	
第15回	市民参画について	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	30	レポートの構成、内容等で総合的に判断する ・与えられた課題に対し、その問題や解決策が具体的に述べられているものを評価する。 ・レポートの構成が非常識なもの、文字数が不足しているもの、文章の推敲がなされていないもの等については減点対象とする。
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	70	・講師毎に課される小テスト、レポートの点数や内容を評価する。 ・授業への参加度や出席態度(遅刻や早期退席をはじめ、授業に無関係なPCやスマートフォンの使用、イヤホンの装着などは減点対象とする)等で評価する。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 キャリア・情報					
科目名		統計の基礎					
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C103	担当教員	中田 和則		
到達目標							
統計および財務分析の基礎を学習する。統計や財務分析指標について学び、企業の財務や経営について、自分の頭で判断できるようになることを到達目標とする。統計や財務分析を通じて、経営改善や地域社会の発展に貢献していくための社会人としての基礎力を身に着ける。							
成績評価の方法							
参画率(40点×参画率:40%)と中間テスト(30点)＋総合テスト(30点)の試験成績合計(60点:60%)合計100点。5回以上の欠席および試験の未受験者は単位を認めない。							
テキスト							
特に指定しない。適時、講義内で指示する。							
その他							
講義内容							
統計および経営分析の基礎として、各指標を採り上げ講義し学習する。基本的に企業事例の問題を計算分析し経営の実態、企業の経営の経営改善の方向性を自分の頭で考えてもらう。毎回、積極的な授業参画が求められる。							
受講登録以前に準備すること							
統計や財務分析について書籍等で調べておくこと。							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	統計の基礎	
基本的に、適時、学習した項目の確認と知識定着のために問題計算演習を行う。 必ず、計算機(スマホの計算機能使用もOK)を持参すること。毎回予習2時間、復習2時間の問題演習が必要。		
授業計画		
第1回	オリエンテーション（統計・財務分析とは）	
	担当教員	中田 和則
第2回	統計・財務分析指標について	
	担当教員	中田 和則
第3回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第4回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第5回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第6回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第7回	中間テスト	
	担当教員	中田 和則
第8回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	統計の基礎	
第9回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第10回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第11回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第12回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第13回	事例問題演習	
	担当教員	中田 和則
第14回	まとめ総合テスト	
	担当教員	中田 和則
第15回	全体のまとめ	
	担当教員	中田 和則
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	参画率(40点×参画率:40%)と中間テスト(30点)＋総合テスト(30点)の試験成績合計(60点:60%)合計100点。5回以上の欠席と試験未受験者は単位を認めない。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	統計の基礎	
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	専門科目 キャリア・情報						
科目名	データサイエンス						
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	末富 弘		
到達目標							
・経営学入門レベルの知識を習得する。 ・データサイエンスの必要性和重要性を学修する。 ・データサイエンスを活用した経営について習得する。							
成績評価の方法							
期末レポート55点、毎回の受講評価45点(1～3点×15回) で評価する。合計100点。60点以上が合格である・5回以上の欠席は単位を認定しない。							
テキスト							
都度、資料を配布する。							
その他							
実務家教員による科目 1977～1998 北海道拓殖銀行 (1986～1988 北海道出向) 1998～2011 北洋銀行 (2000～2007 北海道TLO出向) 2020～ 苫小牧信用金庫非常勤アドバイザー							
講義内容							
経営学入門レベルの知識の習得する、データサイエンスの必要性和重要性の学修、データサイエンスを活用した経営について習得することを、教員の講義及び外部専門家の講義をまじえて行う。 受講前に事前配布した資料を理解し、受講後は内容について復習し、知識としてしっかり身に着ける。							
受講登録以前に準備すること							
北海道経済同友会・北海道デジタル推進委員会2023の以下のHPにある「道内産業のデジタル化推進に向けて～デジタルの動向を知り道内産業のデジタル化を進めるためのポイントを探る～」を読んでおくこと。 https://hokkaido-doyukai.jp/suggestion/202304digital/							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	データサイエンス
教員による対面講義が基本であるが、非常勤講師又はゲストスピーカーによるオンライン講義もある。 事前配布された資料で2時間の予習(記載事項の理解)を行い、講義終了後に2時間の復習(授業内容の確認と習得)を行って補完する。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	現代の科学と社会への活用を、Society5.0で学修し、理解する。
第3回	経営学入門を学修する。①(経営学とは何か)
第4回	経営学入門を学修する。②(現代の経営学)
第5回	経営学入門を学修する。③(経営学の流れ)
第6回	経営学入門を学修する。④(企業の具体的な経営戦略～富士フィルム等)
第7回	経営学入門を学修する。⑤(道内企業の具体的な経営戦略～富士フミトリ、セイコーマート等)
第8回	データサイエンスとは何かを学修する。
第9回	データサイエンス入門を学修する①
第10回	データサイエンス入門を学修する②

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	データサイエンス	
第11回	データサイエンス入門を学修する③	
第12回	データサイエンスの経営への活用事例を学修する。①	
第13回	データサイエンスの経営への活用事例を学修する。②	
第14回	データサイエンスの経営への活用事例を学修する。③	
第15回	データサイエンスの経営への活用事例を学修する。④	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	期末レポート55点、毎回の受講評価45点(1～3点×15回)で評価する。合計100点。60点以上が合格である・5回以上の欠席は単位を認定しない。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 キャリア・情報					
科目名		情報システム					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	LL	担当教員	上原 貴史		
到達目標							
[1] 情報社会の根幹にある情報と情報システムの有用性について述べることができる [2] 情報システムの基本が説明できる [3] 安全に情報を収集することができる [4] 情報システムへのかかわり方について自分なりの考えを述べることができる							
成績評価の方法							
・到達目標[1][2][3]は、主に定期試験で評価する。 ・到達目標[4]は、主に授業内の課題で評価する。 ・欠席5回以上⇒受験無資格(単位不認定) 授業への積極的な参加 30点(30%) 授業中に課す課題 20点(20%) 定期試験 50点(50%)							
テキスト							
【参】IPA ITパスポート試験 シラバス Ver6.4(2025.4 独立行政法人 情報処理推進機構)							
その他							
講義内容							
情報機器及びシステムの把握や、担当業務の遂行及びシステム化を推進するために基礎的な内容について学ぶ。 [1] 利用する情報機器およびシステムを把握するために、コンピュータシステム、データベース、ネットワーク、情報セキュリティ、情報デザイン、情報メディアに関する内容 [2] 企業活動や関連業務の知識、システム的な考え方や理論的な思考力(プログラミング的思考力など)、問題分析および問題解決手法に関する内容 [3] 安全に情報を収集し、効果的に活用するために、関連法規、情報セキュリティに関する各種規定、情報倫理に関する内容							
受講登録以前に準備すること							
特に無し							
取得可能な資格							
特に無し							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	情報システム
講義形式 【予習内容】 授業計画にある言葉を各自調べてから授業に参加すること 【復習内容】 授業で出した課題について、わからない言葉を調べること 予習、復習あわせて週4時間程度学習すること	
授業計画	
第1回	科目ガイダンス
第2回	システムとは、情報システムとは
第3回	企業活動、法務
第4回	経営戦略、技術戦略、ビジネスインダストリ
第5回	システム戦略、システム企画
第6回	システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術
第7回	プロジェクトマネジメント
第8回	サービスマネジメント、システム監査
第9回	基礎理論(AI関連含む)、アルゴリズムとプログラミング
第10回	ローコード開発

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	情報システム	
第11回	コンピュータ構成要素、システム構成要素	
第12回	ソフトウェア、ハードウェア	
第13回	情報デザイン、情報メディア	
第14回	データベース、ネットワーク	
第15回	セキュリティ／まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	50	授業内からの課題から出題(70問)
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	50	授業内での参加度・提出物 30% 授業内の課題(1講義あたり5～10問程度) 20%
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 キャリア・情報					
科目名		情報の収集と発信					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	西川 祥一		
到達目標							
・ジャーナリズムのベースとなるメディアの概況、特性、機能・役割について考察し、説明できる。 ・ニュースは、誰が、何のために、どのようにつくっているのかについて理解し、説明できる。							
成績評価の方法							
講義への積極的参加度を40%。全体のまとめとして課す課題レポートの評価を60%とし、その合計点で評価します。							
テキスト							
現代ジャーナリズムを学ぶ人のために(第2版) 大井真二、田村紀雄、鈴木雄雅編(世界思想社)							
その他							
講義内容							
●メディアについて、その特徴・特性を学び、広くジャーナリズムのあり方について考え、理解を深めていく。情報は誰が、どのような基準で、どのようにしてニュースとしているのかという考察を深めていく。 ●新聞・テレビ・雑誌・ラジオの4マスメディアに加え、ネットやSNSも含めた媒体について、その機能、役割、特性について概観、考察する。 ●フェイクニュースの問題やSDGsなど社会課題とジャーナリズム、ネット・SNS時代のメディア、ジャーナリズムのあり方を考える。							
受講登録以前に準備すること							
なし							
取得可能な資格							
なし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 キャリア・情報
科目名	情報の収集と発信
一方通行の座学は避け、受講する学生に意見を出してもらいながら、進めていきます。テーマによっては、グループワークを採用しながら、多角的な内容にしていきます。 1回の授業ごとに、 予習(2時間) 次回の授業で取り上げる内容についておおまかな流れをつかんでおく。 復習(2時間) 授業で取り上げた重要なポイントを中心に、見直し、論点を整理する	
授業計画	
第1回	イントロダクション そもそもジャーナリズムとは何か
第2回	ニュースとは何か
第3回	ニュースはどうつくられるのか
第4回	情報源はどこか どうやって情報を集めるのか
第5回	取材とは何か
第6回	ニュースはどうつくられるのか
第7回	客観報道は可能なのか
第8回	ジャーナリズムは権力を監視できているのか
第9回	ジャーナリズムの倫理
第10回	新聞・テレビからネットジャーナリズムへ

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 キャリア・情報	
科目名	情報の収集と発信	
第11回	ジャーナリズムは国によって違うのか	
第12回	メディアの誤報	
第13回	フェイクニュースと生成AIのジャーナリズム	
第14回	ジャーナリズムは民主主義を守れるか	
第15回	2035年のジャーナリズム	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	授業への積極的参加度を40%、期末課題レポートの評価を60%とし、その合計点で評価します。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 文化・社会					
科目名		先住民学					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C204	担当教員	種石 悠		
到達目標							
北方少数先住民の生活、文化、社会について理解できるようにする。							
成績評価の方法							
毎回講義後のリアクションペーパー(3点×15回:45%)、期末レポート(55点:55%)							
テキスト							
特になし							
その他							
講義内容							
地球の北方には、寒冷な気候に適応した、北方少数先住民が居住しており、独自の文化を形成してきた。講義では、これらの先住民社会とその文化について解説し、理解を深めてゆく。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
博物館学芸員							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 文化・社会
科目名	先住民学
テキストに沿いながら、適宜スライドを用いて、北方少数先住民社会とその文化について解説する。 毎回の講義ではテキストを一章ずつ解説してゆくので、講義前にわからない語句等を2時間をかけて予習し、講義後は関連文献などを用いて2時間をかけて復習を行なう。	
授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	北方先住民とは何か
第3回	北方先住民の文化
第4回	北方先住民の社会
第5回	北方先住民の暮らし
第6回	北方先住民の道具
第7回	北方先住民の生業
第8回	北方先住民の精神世界
第9回	北方先住民の毛皮文化
第10回	北方先住民の移動手段

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 文化・社会	
科目名	先住民学	
第11回	シャーマニズムとアニミズム	
第12回	北方先住民文化とアイヌ文化	
第13回	北海道近隣の先住民文化(前編)	
第14回	北海道近隣の先住民文化(後編)	
第15回	北方先住民文化・社会のまとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	45	講義後のリアクションペーパー 3点×15回
その他	55	期末レポート 55点

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 文化・社会					
科目名		持続可能社会論					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C203	担当教員	末富 弘		
到達目標							
・SDGs(持続可能な開発目標)について学修し、説明できるようにする・ ・北海道における、地方自治体や企業のSDGsの取り組みを学修し、北海道の持続可能な社会づくりを提言する。 ・SDGs実現のための新規事業を検討する。							
成績評価の方法							
期末レポート55点、毎回の受講評価45点(1～3点×15回) で評価する。合計100点。60点以上が合格である・5回以上の欠席は単位を認定しない。							
テキスト							
都度、配布する。							
その他							
実務家教員による科目 1977～1998 北海道拓殖銀行 (1986～1988 北海道出向) 1998～2011 北洋銀行 (2000～2007 北海道TLO出向) 2020～ 苫小牧信用金庫非常勤アドバイザー							
講義内容							
SDGs(持続可能な開発目標)の必要性和重要性について、教員の講義で学修する。 最終的には、SDGsを実現するための提言をまとめ、新規事業のネタにする。 事前資料を指定するので予習を行い、講義後は内容について復習し身につける。”							
受講登録以前に準備すること							
北海道の以下のHPを閲覧しておくこと。「北海道におけるSDGsの推進について」 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/SDGs/93952.html							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 文化・社会
科目名	持続可能社会論
教員による講義が基本であるが、外部専門家による専門的な講義を行う場合もある。 事前配布された資料で2時間の予習(記載事項の理解)を行い、講義終了後に2時間の復習(授業内容の確認・習得)を行って補完する。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	SDGs(持続可能な開発目標)とは何かを、学修する。
第3回	北海道におけるSDGsの推進について、学修する。(1)
第4回	北海道におけるSDGsの推進について、学修する。(2)
第5回	北海道内各地域のSDGs推進状況について学修する。
第6回	北海道のゼロカーボン推進計画について学修する。(1)
第7回	北海道のゼロカーボン推進計画について学修する。(2)
第8回	企業の経営とSDGsの関係について学修する。
第9回	国内企業のSDGsに関する取り組みについて学修する。
第10回	道内企業のSDGsに関する取り組みについて学修する。

2026 北洋大学		
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科
区分		専門科目 文化・社会
科目名		持続可能社会論
第11回	道内市町村のSDGsへの取り組みについて提言をまとめる。(1)	
第12回	道内市町村のSDGsへの取り組みについて提言をまとめる。(2)	
第13回	道内企業のSDGsへの取り組みについて提言をまとめる。(1)	
第14回	道内企業のSDGsへの取り組みについて提言をまとめる。(2)	
第15回	提言について外部専門家の指導を受け、修正する。	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	期末レポート55点、毎回の受講評価45点(1～3点×15回)で評価する。合計100点。60点以上が合格である・5回以上の欠席は単位を認定しない。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 文化・社会					
科目名		日本歴史文化論					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	山中 慎		
到達目標							
・歴史上のリーダーとして名を残した人物に学び、実践する ・歴史上のリーダーたちが残した経験や考え方を話することができる							
成績評価の方法							
評価方法: 講義内プリント課題/15回目理解力レポート 評価割合: 講義内プリント課題 (84%)15回目理解力レポート(16%)							
テキスト							
リーダーは日本史に学べ:ダイヤモンド社							
その他							
特になし							
講義内容							
様々な歴史上の人物を取り上げ、リーダー論やマネジメントの質を考える。 映像やビデオを活用して人物を学ぶ。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 文化・社会
科目名	日本歴史文化論
・予習(2時間):講義で取り上げる内容などにより、講義のおおまかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明する。 ・復習(2時間):講義で取り上げた重要なポイントを中心に、見直し、論点を整理すること。	
授業計画	
第1回	ガイダンス 準備学習:シラバスを読んで受講上の注意点について事前に調べておく
第2回	・人を動かすリーダー力(織田信長①) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第3回	・人を動かすリーダー力(織田信長②) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第4回	・人を動かすリーダー力(西郷隆盛①) 準備学習:授業内容について、教科書該当ページの予習
第5回	・人を動かすリーダー力(西郷隆盛②) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第6回	・人を動かすリーダー力(前田利家) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第7回	・人を動かすリーダー力(伊達政宗) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第8回	モノは知恵で活かされる(坂本龍馬①) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第9回	モノは知恵で活かされる(坂本龍馬②) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習
第10回	お金は後からついてくる(徳川家康) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 文化・社会	
科目名	日本歴史文化論	
第11回	お金は後からついてくる(二宮尊徳) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習	
第12回	情報を活かしたものが勝負を制する(豊臣秀吉) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習	
第13回	情報を活かしたものが勝負を制する(徳川吉宗) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習	
第14回	目標は言葉に表して実現に向けて動くのみ(大久保利通) 準備学習:講義内容について、教科書該当ページの予習	
第15回	人物講義振り返り 準備学習:今まで使用したプリントの予習	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	評価方法:講義内プリント課題/15回目理解力レポート 評価割合:講義内プリント課題(14回/84点84%)15回目理解力レポート(1回/16点16%)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 文化・社会					
科目名		英語で学ぶ日本					
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
日本や北海道、日本文化などについて英語で理解することができる。							
成績評価の方法							
毎回の授業内作業・発表							
テキスト							
YouTube 「北海道:観光客がほとんど知らない日本の姿」< https://www.youtube.com/watch?v=88TjBhbWsMI > 「This is ALL of HOKKAIDO, Japan」< https://www.youtube.com/watch?v=C4EcsfyDSio > 「日本の北海道:北海道でやるべきことトップ20」< https://www.youtube.com/watch?v=0CXqticBzGw >							
その他							
特になし。							
講義内容							
本授業は、テキストに沿って、日本にまつわるエピソードを、英語で理解できるようにリーディング、スピーキング等を総合的に学習する。							
受講登録以前に準備すること							
テキストに事前に精通しておくこと							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	専門科目 文化・社会
科目名	英語で学ぶ日本
Youtubeを何度も見ながら、英語のリスニングや和訳に取り組み、同時に日本(特に北海道)の文化に精通できるようになる。受講生の英語・日本語能力次第で、2時間程度の予習が必要である。同時に復習にも2時間を要する。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	「北海道:観光客がほとんど知らない日本の姿」(1)
第3回	「北海道:観光客がほとんど知らない日本の姿」(2)
第4回	「北海道:観光客がほとんど知らない日本の姿」(3)
第5回	「北海道:観光客がほとんど知らない日本の姿」(4)
第6回	「北海道:観光客がほとんど知らない日本の姿」(5)
第7回	「This is ALL of HOKKAIDO, Japan」(1)
第8回	「This is ALL of HOKKAIDO, Japan」(2)
第9回	「This is ALL of HOKKAIDO, Japan」(3)
第10回	「This is ALL of HOKKAIDO, Japan」(4)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 文化・社会	
科目名	英語で学ぶ日本	
第11回	「日本の北海道:北海道でやるべきことトップ20」(1)	
第12回	「日本の北海道:北海道でやるべきことトップ20」(2)	
第13回	「日本の北海道:北海道でやるべきことトップ20」(3)	
第14回	「日本の北海道:北海道でやるべきことトップ20」(4)	
第15回	まとめ・試験など	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	毎回の作業・発表(文字起こしと翻訳)等(13回×5点) ミニクイズ(35点)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		専門科目 文化・社会					
科目名		イギリス歴史文化論					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C102	担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
英国小説を映画で視聴することにより、イギリスの歴史と文化を批判的に理解できるようなる。							
成績評価の方法							
授業内の討論・貢献度と学期末試験							
テキスト							
レジュメを配布する。							
その他							
特になし							
講義内容							
文学作品が書かれた時代の歴史文化背景を説明した後、映画4本(『フランケンシュタイン』『クリスマス・キャロル』『ロード・オブ・ザ・リング』『わたしを離さないで』)を視聴し、そのあと討論を行う。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 文化・社会	
科目名	イギリス歴史文化論	
討論形式 授業の予習と復習に各2時間を要する。		
授業計画		
第1回	授業のイントロ 小説の誕生: ビデオ:Industry and Enlightenment ロマン派と文学: ビデオ:Romanticism and Revolution	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第2回	Film 1a: Mary Wollstonecraft Shelley's Frankenstein (1818/1990, 124 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第3回	Film 1b: Mary Wollstonecraft Shelley's Frankenstein (1818/1990, 124 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第4回	Film 1c: Mary Wollstonecraft Shelley's Frankenstein (1818/1990, 124 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第5回	ヴィクトリア朝の文学 ビデオ:Imperialism and Progress Film 2a: Charles Dicken's Christmas Carol (1843/2009, 96 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第6回	Film 2b: Charles Dicken's Christmas Carol (1843/2009, 96 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第7回	Film 2c: Charles Dicken's Christmas Carol (1843/2009, 96 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第8回	20世紀の文学 ビデオ:World Wars and the Quest for Order ビデオ:Liberation and Change Film 3a: J.R.R. Tolkien's The Lord of the Rings (1954-55/2001, 178 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 文化・社会	
科目名	イギリス歴史文化論	
第9回	Film 3b: J.R.R. Tolkien's The Lord of the Rings (1954-55/2001, 178 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第10回	Film 3c: J.R.R. Tolkien's The Lord of the Rings (1954-55/2001, 178 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第11回	Film 3d: J.R.R. Tolkien's The Lord of the Rings (1954-55/2001, 178 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第12回	21世紀の文学 Film 4a: Kazuo Ishiguro's Never Let Me Go (2005/2010, 104 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第13回	Film 4b: Kazuo Ishiguro's Never Let Me Go (2005/2010, 104 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第14回	Film 4c: Kazuo Ishiguro's Never Let Me Go (2005/2010, 104 mins)	
	担当教員	瀬名波 栄潤
第15回	今学期のまとめ	
	担当教員	瀬名波 栄潤
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	40	選択問題(20問✖2点=40点)
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	授業での発言・貢献度等(4作品✖15点)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	専門科目 文化・社会	
科目名	イギリス歴史文化論	
その他	0	